

# かんたん 設置ガイド

Satera

MF244dw / MF242dw / MF232w

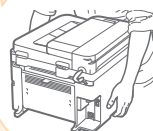
1



はじめに

➡ 3ページ

2



設置する

➡ 4ページ

3



パソコンと接続する  
ソフトウェアをインストールする

➡ 12ページ



本機の全機能は、ユーザーズガイド  
で説明しています。

<http://canon.com/oip-manual>

でご覧いただくことができます。



困ったときには ➡ 26ページ

## ➡ 最初にお読みください

ご使用前に必ず本書をお読みください。安全にお使いいただくための注意事項は「ユーザーズガイド」に記載されていますので、あわせてお読みください。本書は将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

## ➡ Mac OSをお使いのお客様へ

Mac OS用ドライバーの対応状況はキヤノンホームページでご確認ください（詳細は3ページ）。

商品別OS対応状況は[canon.jp/support](http://canon.jp/support)を、最新ドライバーのダウンロードについては[canon.jp/download](http://canon.jp/download)をそれぞれご覧ください。

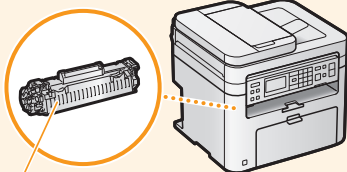


# 入っているものを確認しよう

足りない! 壊れている!

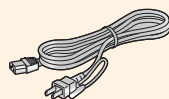
➡ お買い求めの販売店へ

## ○ 本体

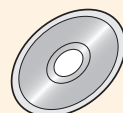


スタートナーカートリッジが付いています

## ○ 電源コード



## ○ ユーザーソフトウェア/ 取扱説明書DVD-ROM



## ○ かんたん設置ガイド



## ○ かんたん操作ガイド



## ○ 保証登録のお願い

### LANケーブルやUSBケーブルは付属していません

- LANケーブルは別途ご用意ください。
- LANケーブルはカテゴリ 5 以上対応のツイストペアケーブルをご使用ください。
- 100BASE-TX Ethernet ネットワークに接続する場合、LAN上の機器はすべて100BASE-TX に対応している必要があります。
- USBケーブルは、下のマークがあるケーブルをご使用ください。



### Mac OSをお使いのお客様へ

Mac OS用のドライバーは、ご購入の時期によっては付属されていない場合があります。最新ドライバーがキヤノンホームページに順次掲載されますのでダウンロードしてお使いください。その際、OSの対応状況についても最新情報をご確認ください。なお、ドライバーのインストール手順や操作方法については、各ドライバーのマニュアルをご覧ください。

※ 商品別OS対応状況は[canon.jp/support](http://canon.jp/support)を、最新ドライバーのダウンロードについては[canon.jp/download](http://canon.jp/download)をそれぞれご覧ください。

1

はじめに

2

設置する

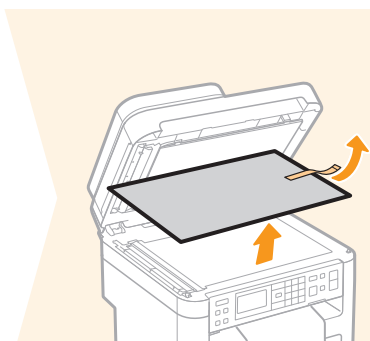
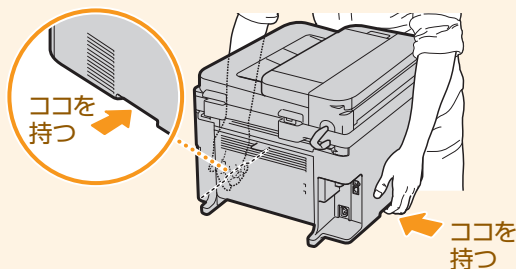
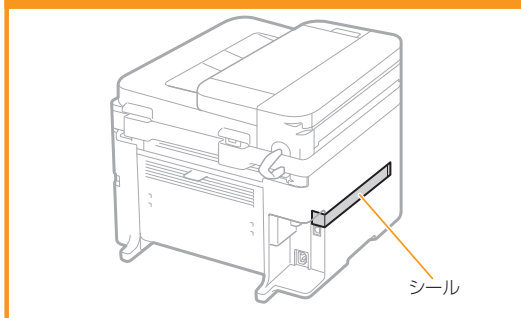
3

パソコンと接続する/ソフトウェアをインストールする

# 設置して梱包材を取り外そう

設置後は、テープ(オレンジ色)などの梱包材と保護材をすべて取り外します。梱包材や保護部材は予告なく位置・形状が変更されたり、追加・削除されることがあります。

## USB ポートのシールは取り外さない!



## Check!

梱包材はすべて取り外しましたか?



## ■ このような場所に設置しよう

右の寸法を参考にして、設置スペースを確保してください(周囲は100 mm以上のスペースをあけてください)。

### つぎのような場所には設置しないで!

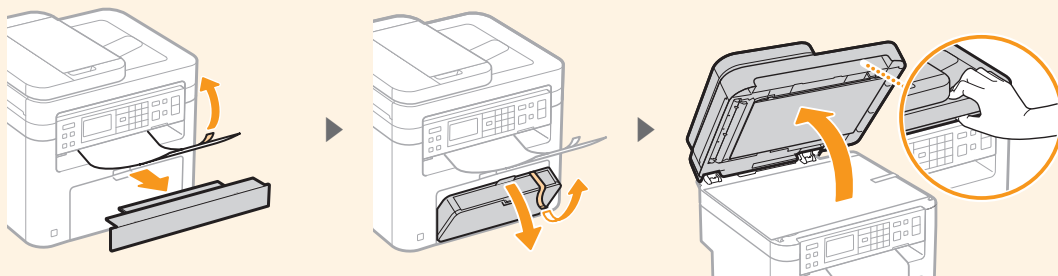
- アルコール、シンナーなど引火性溶剤の近く ▶ 本体内部の電気部品などに付着すると火災や感電の原因。
- 医療用電気機器の近く ▶ 本機からの電波が誤動作の原因になる場合あり。
- 不安定な場所、振動のある場所、通風口をふさぐような場所、湿気やホコリの多い場所、屋外や直射日光の当たる場所、高温になる場所、火気に近い場所、風通しの悪い場所 ▶ ケガ、火災、感電の原因。

### 本機からはオゾンが発生します

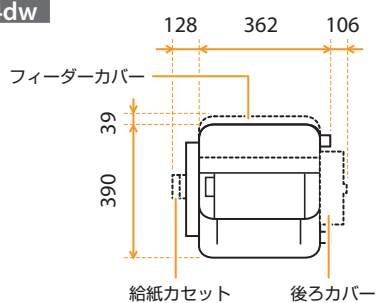
本機を使用するとオゾンなどが発生しますが、人体に影響ありません。ただし、長時間使用したり大量にプリントしたりする場合は、快適な作業環境を保つため換気してください。本機からの排気が人体に直接当たる場所には設置しないでください。



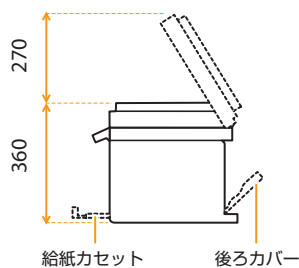
テープはすべて外す



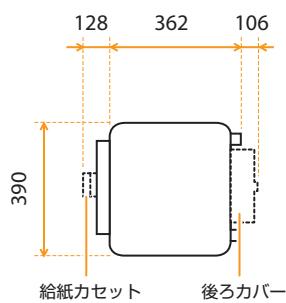
### MF244dw



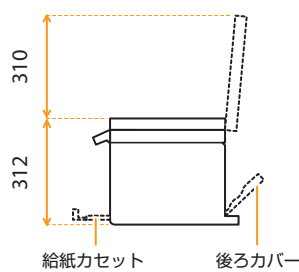
(mm)



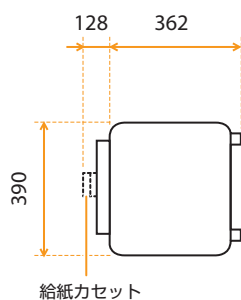
### MF242dw



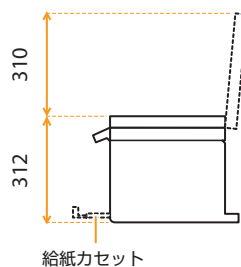
(mm)



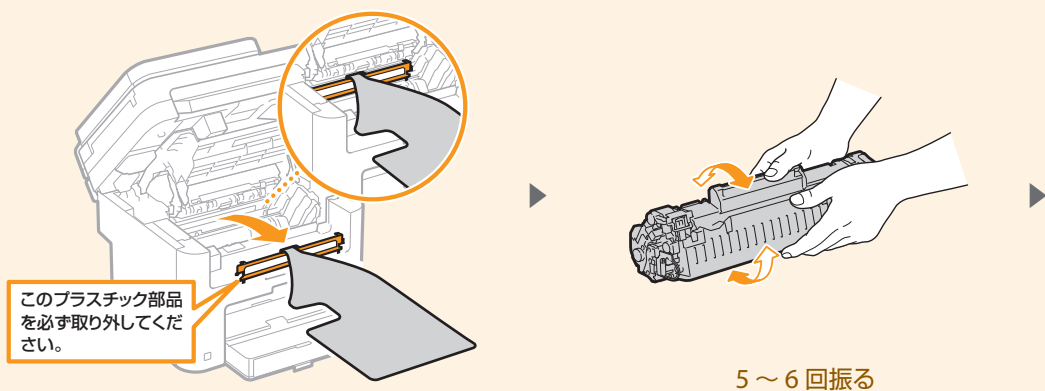
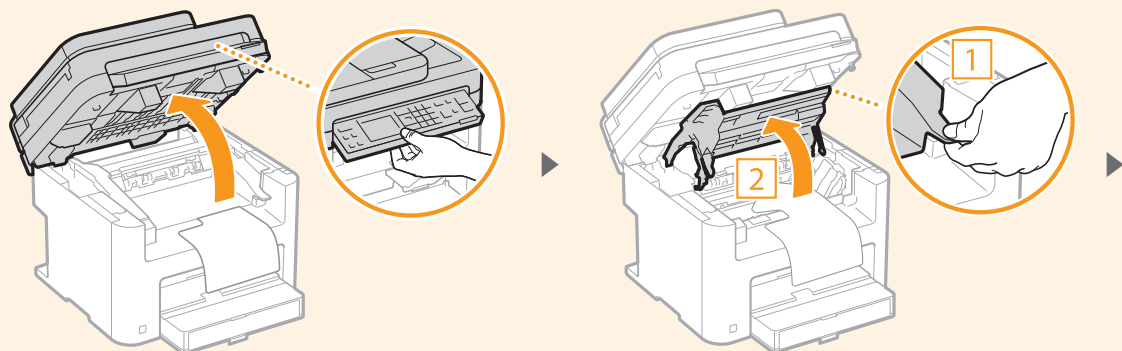
### MF232w



(mm)

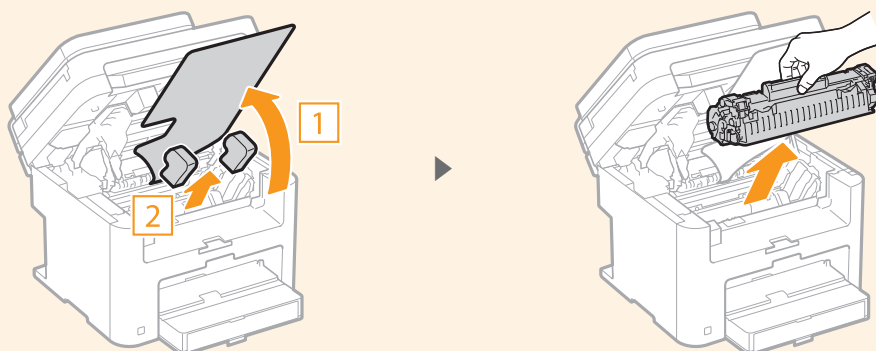


# トナーカートリッジを準備しよう



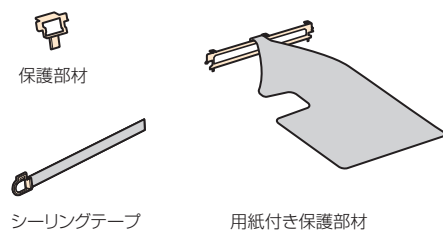
左右の突起をガイドに合わせて、奥に当たるまで押し込む

トナーカートリッジを準備しよう

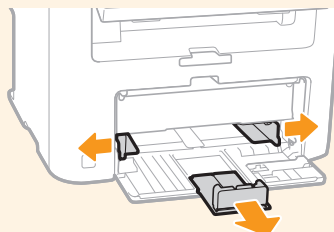
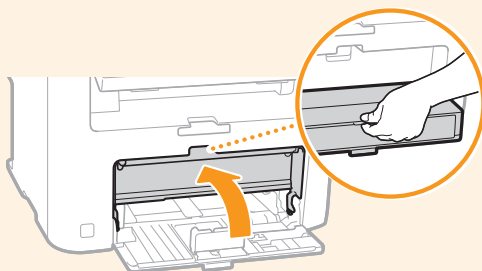


## Check!

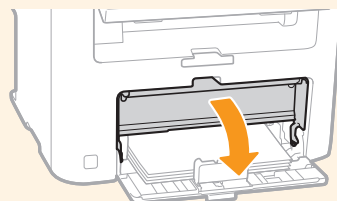
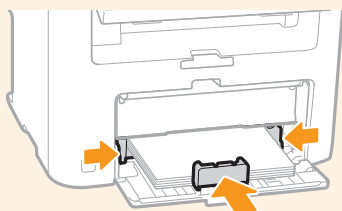
梱包材はすべて取り外しましたか？



# 用紙をセットしよう



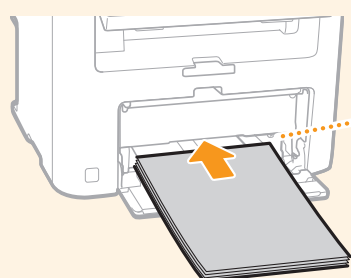
用紙幅より広めにセットする



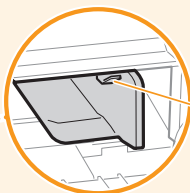
用紙幅に隙間なく合わせる

## ■ A4サイズ以外の用紙をセットする ➡ 32ページへ

上で説明している手順はA4サイズの用紙をセットする方法です。A4サイズ以外の用紙をセットするときは、初期設定が全て終わってから、用紙のサイズと種類を設定してください。



奥に当たるまで差し込む



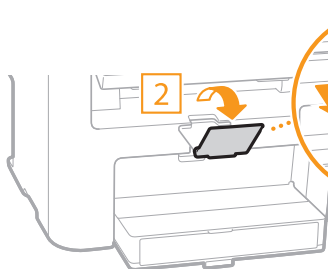
積載制限ガイド

Check!

用紙は積載制限ガイドの下を通してください。

印刷するときに使ってください

印刷された用紙が落下するのを防ぎます。

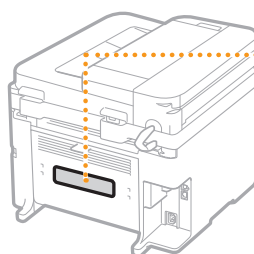


排紙ストッパーを引き出します。

排紙ストッパーを開きます。

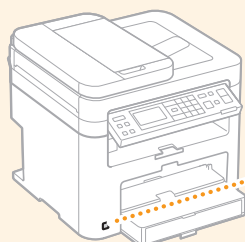
### シリアル番号について

お問い合わせの際にはシリアル番号が必要です。シリアル番号は、本体背面のラベルに記載されています。



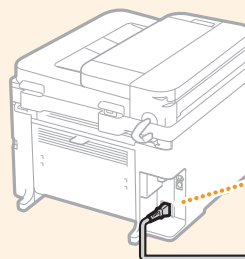
アルファベット3文字と5桁の数字がシリアル番号です。

# 初期設定をしよう

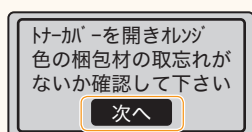


電源が入っていないことを確認

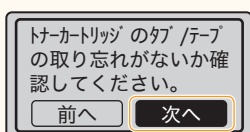
USBケーブルはまだつながない  
ソフトウェアのインストール時に接続します



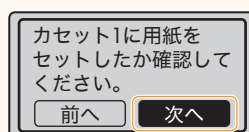
操作パネルに表示される内容を確認して[OK]を押す



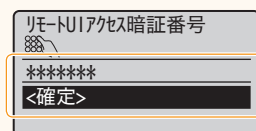
OK



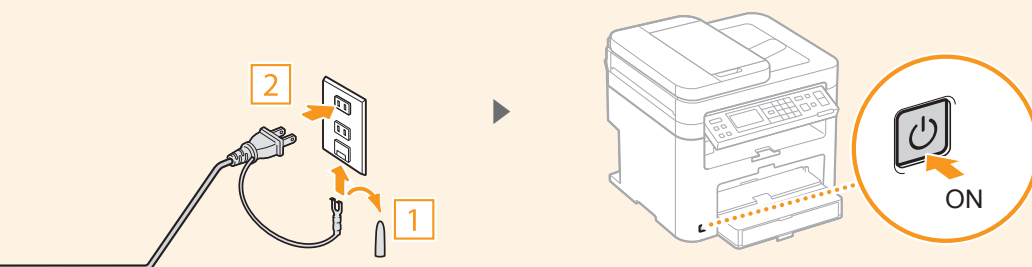
OK



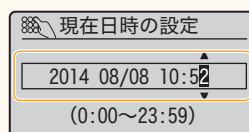
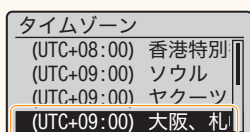
- リモートUIアクセス暗証番号を設定する
- リモートUIを使用する場合、第三者からの不正アクセスを防止するために、リモートUIアクセス暗証番号の設定を推奨します。
- OK
- リモートUIアクセス暗証番号を設定しますか? (設定は後からでも可能)
- はい いいえ
- <はい>または<いいえ>を選択する。
  - あとからリモートUIアクセス暗証番号を設定する場合は、<いいえ>を選択します。
  - ユーザーズガイド「リモートUIの暗証番号を設定する」



- 暗証番号の入力は確認のために2回行います。同じ番号を入力してください。

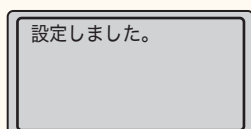


### タイムゾーンと日時を設定して[OK]を押す



- [◀] [▶] で左右にカーソルを移動します。
- [▲] [▼] で数値を変更するか、テンキーを使って数字を入力します。

### 内容を確認する



- 初期設定はこれで終わりです。

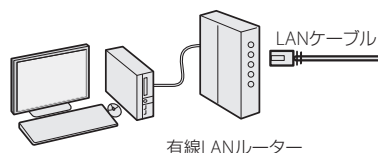
# パソコンとの接続方法を決めよう

通信環境やお使いの機器に合わせて次の3つから選んでください。



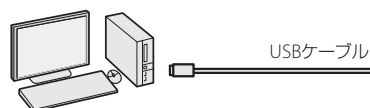
## 有線LANで接続する ※パソコンは、有線LANまたは無線LANでルーターに接続してください。

有線LANルーターを介して、本機とパソコンを接続します。  
LANケーブルを使って、本機を有線LANルーターに接続してください。



## USBで接続する

USBケーブルを使って本機とパソコンを接続します。



## 無線LANで接続する ※パソコンは、有線LANまたは無線LANでルーターに接続してください。

無線LANルーターを介し、無線通信（電波）によって本機とパソコンを接続します。お使いの無線LANルーターに右記のようなマークの付いたボタンがあるかどうか確認してください。ボタンのある／なしによって操作が分かります。

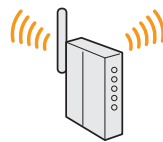


### ボタンがある

いずれかのマークの付いたボタンがある場合は、それを押すだけで簡単に設定することができます。

### ボタンがない

自分でSSID（ネットワーク名またはアクセスポイント名）を選び、ネットワークキー（暗号化キー）を設定します。



無線LANルーター

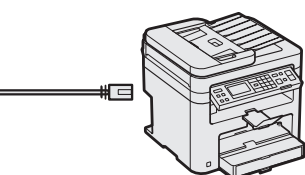
### モバイル機器で直接接続する

本機とモバイル機器を、無線でダイレクト接続（アクセスポイントモード）することもできます。

➡ ユーザーズガイド「ダイレクト接続する（アクセスポイントモード）」







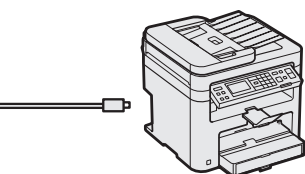
<いいえ>を選択して  
[OK]を押す

無線LANを使用してネットワーク接続しますか？（設定は後からでも可能）

確認して[OK]を押す

日時設定の保存  
日時設定の保存のため24時間の充電が必要です。他の設定を有効にするために主電源を入

➡ 次のページへ進む



<いいえ>を選択して  
[OK]を押す

無線LANを使用してネットワーク接続しますか？（設定は後からでも可能）

確認して[OK]を押す

日時設定の保存  
日時設定の保存のため24時間の充電が必要です。他の設定を有効にするために主電源を入

➡ 16ページへ進む



<はい>を選択して  
[OK]を押す

無線LANを使用してネットワーク接続しますか？（設定は後からでも可能）

[OK]を押す

必ずかんたん設置ガイドを見ながら無線LAN設定を行ってください

ボタンがある

➡ 20ページの  
手順⑥へ進む

※ あとから無線LANの設定をするときは、「無線LANで接続しよう」（18ページ）を参照してください。

ボタンがない

➡ 23ページの  
手順⑥へ進む

# 有線LANで接続しよう



## 1 まず確認してください

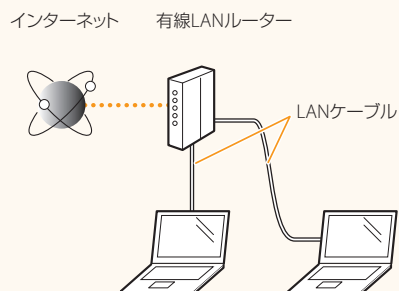
LANケーブル、ルーターは付属していませんので、別途ご用意ください。

### ① LANケーブルによって、パソコンと有線LANルーターは正しくつながっているか？

詳しくはそれぞれの機器に付属している取扱説明書をご覧くださいか、またはメーカーにお問い合わせください。

### ② パソコン側のネットワーク設定は完了しているか？

設定が正しく完了していないと、以降の手順を行っても有線LANのネットワークでご使用になることができません。

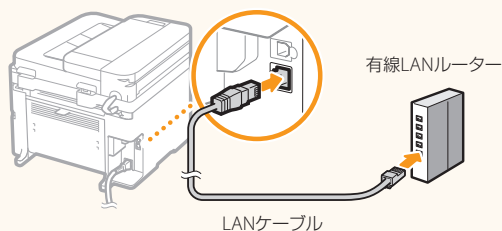


#### ご注意

- 本機を有線LANと無線LANの両方に接続することはできません。
- セキュリティーで保護されていないネットワーク環境に接続すると、お客様の個人情報などが第三者に漏えいする危険があります。十分にご注意ください。
- オフィスでLAN接続する場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

## 2 LANケーブルを接続する

LANケーブル、有線LANルーターなどは付属していませんので、別途ご用意ください。LANケーブルはカテゴリ 5以上対応のツイストペアケーブルをご使用ください。



#### 本機のIPアドレスが変更された場合

本機とパソコンが同一サブネット上にあれば、接続は維持されます。

#### \*IPアドレスを手動で設定する場合

パソコンのIPアドレスに固定IPアドレスを設定している場合は、手動で固定IPアドレスを設定してください。



ユーザーズガイド「IPアドレスを設定する」

接続したらそのまま約2分間待つ  
この間に自動的にIPアドレスが設定されます\*。

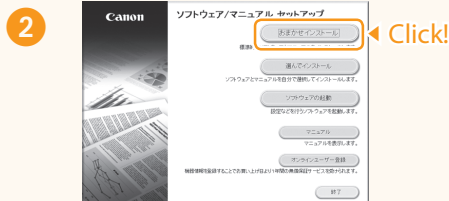
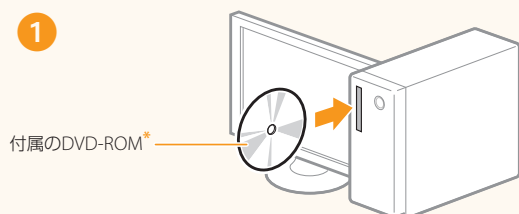
# 3 ソフトウェアをインストールする

MFドライバーとMF Scan Utilityをインストールします。インストールについての詳細は、「MFドライバーインストールガイド」を参照してください。

## ご注意

ネットワーク環境がIPv6の場合は、この手順でソフトウェアをインストールすることはできません。MFドライバーインストールガイドの「WSDを使用するときのインストール」をご覧ください。

### Windows



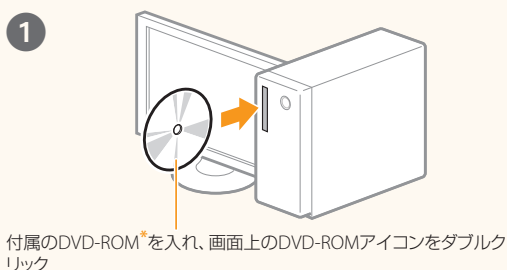
使用状況調査プログラムへのご協力をお願いします。  
詳細は画面の説明をご覧ください。

### 画面が正しく表示されないとき

DVD-ROMを入れなおすか、Windowsで「D:\MInst.exe\*\*」を検索する。

\*\* DVD-ROMドライブ名は「D:」として説明。

### Mac



\* ドライバーは、キヤノンホームページからダウンロードすることもできます。Mac OS用ドライバーの対応状況はキヤノンホームページでご確認ください。

これで有線LANによるパソコン接続は終了です！

# USBで接続しよう



## 1 ソフトウェアをインストールする

MFドライバーとMF Scan Utilityをインストールします。インストールについての詳細は、「MFドライバーインストールガイド」を参照してください。

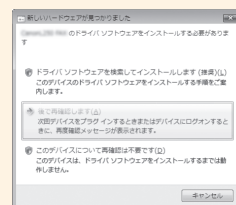
### まだUSBケーブルは接続しないでください

万一、USBケーブルを接続してしまったら

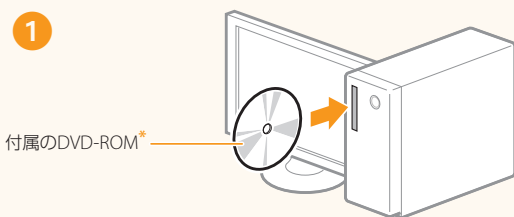
パソコンからUSBケーブルを抜き、手順①/①からやりなおす。

・Windows Vistaの場合、右のようなダイアログボックスが表示されたら、パソコンからUSBケーブルを抜き、キャンセルをクリックして手順①からやりなおす。

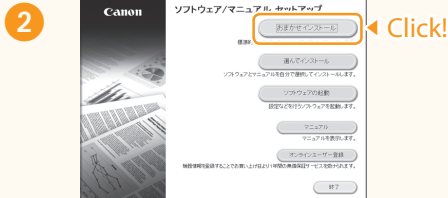
\* USBケーブルを抜いてダイアログボックスが閉じた場合は手順①からやりなおす。



### Windows



付属のDVD-ROM\*



- 画面の指示に従ってUSBケーブルを接続する  
➡ 「USBケーブルを接続する」(17ページ)

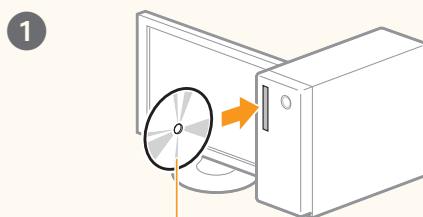
使用状況調査プログラムへのご協力をお願いします。  
詳細は画面の説明をご覧ください。

### 画面が正しく表示されないとき

DVD-ROMを入れなおすか、Windowsで「D:\MInst.exe\*\*」を検索する。

\*\* DVD-ROMドライブ名は「D:」として説明。

### Mac



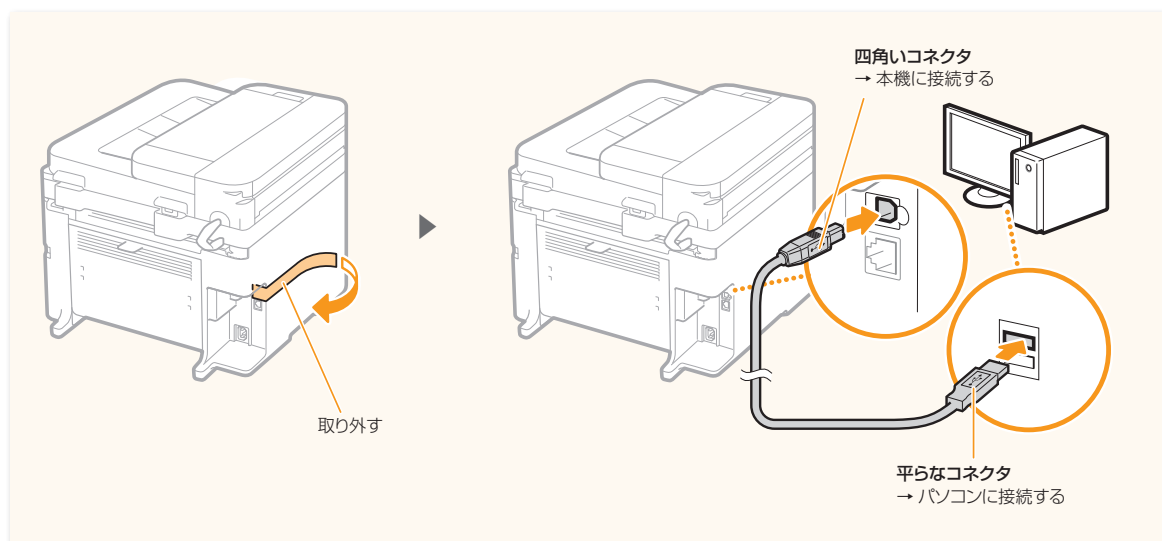
付属のDVD-ROM\*を入れ、画面上のDVD-ROMアイコンをダブルクリック



- MFドライバーなどのソフトウェアをインストールしたら、USBケーブルを接続する。

\* ドライバーは、キャノンホームページからダウンロードすることもできます。Mac OS用ドライバーの対応状況はキャノンホームページでご確認ください。

## 2 USBケーブルを接続する



これでUSBによるパソコン接続は終了です!

# 無線LANで接続しよう



## 1 まず確認してください

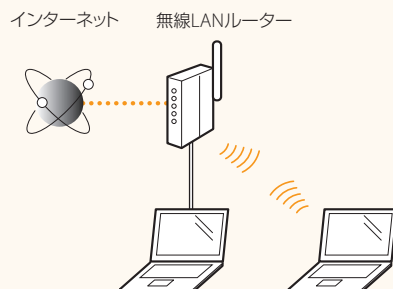
ルーターは付属していませんので、別途ご用意ください。

### ① パソコンと無線LANルーターは正しくつながっているか？

詳しくはそれぞれの機器に付属している取扱説明書をご覧くださいか、またはメーカーにお問い合わせください。

### ② パソコン側のネットワーク設定は完了しているか？

設定が正しく完了していないと、以降の手順を行っても無線LANのネットワークでご使用になることができません。



### ご注意

- 本機を有線LANと無線LANの両方に接続することはできません。なお、本機の「ネットワーク設定」は工場出荷時、「有線LAN」に設定されています。
- IEEE802.11 (b/gまたはn) に対応した無線LANルーター（またはアクセスポイント）が必要です。
- セキュリティーで保護されていないネットワーク環境に接続すると、お客様の個人情報などが第三者に漏えいする危険があります。十分にご注意ください。
- オフィスでLAN接続する場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- 本書では、複数の無線端末からアクセスされる無線装置を総称して、「無線LANルーター」と呼んでいます。また、「アクセスポイント」とは、無線端末がアクセスする無線LAN上のマスター端末のことです。

## 2 自分の無線LANルーターを確認する

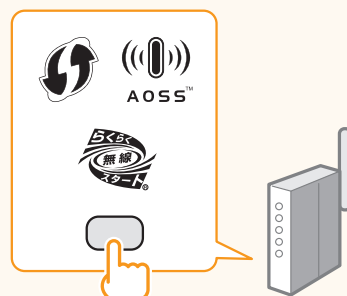
お使いの無線LANルーターにWPS、AOSS、らくらく無線スタートなどといったボタンがあるかどうか確認してください。ボタンのある／なしによって操作が分かります。

### ボタンがある ➡ 20ページへ

本機はWPS (Wi-Fi Protected Setup)、AOSS、らくらく無線スタートに対応しています。無線LANルーターにそのようなボタンがあり、次のマークのいずれかの表示があれば、ボタンを押すだけで簡単に設定することができます。



※ 無線LANルーターがWPS、AOSS、らくらく無線スタート機能に対応しているかどうかがよく分からないときは、無線LANルーター付属の取扱説明書を調べるか、またはメーカーにお問い合わせください。



### ボタンがない ➡ 22ページへ

自分でSSID (ネットワーク名またはアクセスポイント名) を選び、ネットワークキー (暗号化キー) を入力します。操作する前に、無線LANルーターを調べてSSIDとネットワークキーをメモなどに書き留めておく必要があります。SSIDとネットワークキーを確認する方法については、「SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名)とネットワークキー (暗号化キー)を確認しよう」(22ページ) をご覧ください。



### WPSのPIN方式で設定するとき／すべての設定を手動でするとき

- ➡ ユーザーズガイド「WPS PINコード方式で設定する」
- ➡ ユーザーズガイド「すべて入力して設定する」

# 3

## ボタンがある WPS/AOSS/らくらく無線スタートで設定する

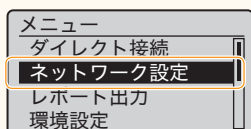
あらかじめ、お使いの無線LANルーターの取扱説明書で設定するときの操作方法を確認しておいてください。

1

メニュー



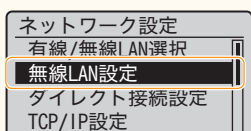
2



- [▲][▼]で<ネットワーク設定>を選択する。

OK ▼

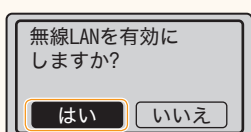
3



- [▲][▼]で<無線LAN設定>を選択する。

OK ▼

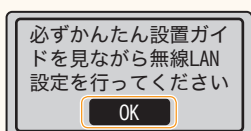
4



- [◀]で<はい>を選択する。

OK ▼

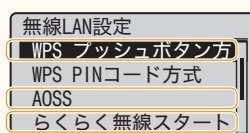
5



- メッセージを確認する。

OK ▼

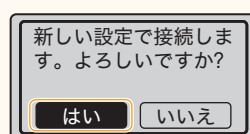
6



- [▲][▼]で、無線LANルーターに表示されているマークに対応する項目を選択する。

OK ▼

7



- [◀]で<はい>を選択する。

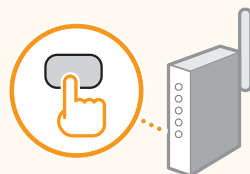
OK ▼

無線LANルーターに移動する



8

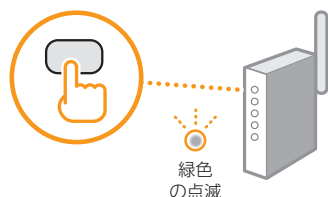
WPS / AOSSの場合



- ⑦の操作で<はい>を選択し、[OK]を押してから、WPSの場合は2分以内に、AOSSの場合は1分30秒以内にボタンを押す。
- ランプが点灯または点滅するまで押し続ける\*。
- \* ボタンを押す時間は無線LANルーターによって異なります。



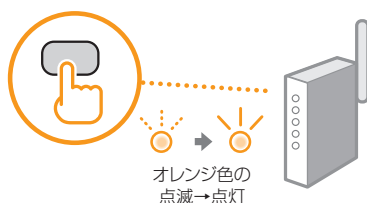
## らくらく無線スタートの場合



- ⑦で<はい>を選択し、[OK]を押してから1分以内にボタンを押す。
- POWERランプが緑色に点滅するまで押し続ける。



- ランプがオレンジ色の点滅に変わるのを確認する。

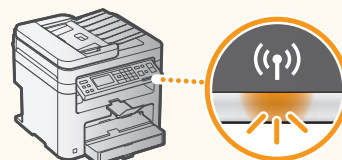


- ランプが点滅から点灯に変わるまで、もう一度押し続ける。

## 本機に移動する



9



- 「接続しました。」という画面が表示され、Wi-Fiランプが点滅から点灯に変わるのを待つ。

## 接続したらそのまま約2分間待つ

この間に自動的にIPアドレスが設定されます

## ➡ 25ページへ進む

## エラーメッセージが表示されたとき

[OK]を押して画面を閉じ、手順⑥からやり直してください。やり直してもアクセスポイントに接続できない場合は、以下を参照してください。

- ➡ 「エラーメッセージが表示されたときは」(28ページ)

## IPアドレスを手動で設定する場合

- ➡ ユーザーズガイド「IPv4アドレスを設定する」  
「IPv6アドレスを設定する」

## 無線LAN設定が完了しているか確認したいとき

「正しく接続されているかを確認する (IPアドレスの確認)」(34ページ)でリモートUIの画面が表示されたら、完了しています。

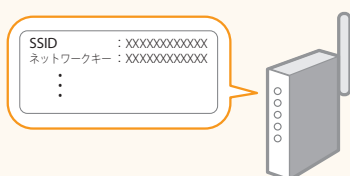
# 3

## ボタンがない SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名) を選んで設定する

### SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名) とネットワークキー (暗号化キー) を確認しよう

下記のいずれかの方法で確認の上、右の空欄に書き留めておきます。設定するときの参考にしてください。

#### 無線LANルーターのラベルを確認する



#### Canon MF/LBP ワイヤレスセットアップアシスタント\*を使って確認する

\* 付属のDVD-ROMに収録されています

- ➡ 「無線LANルーターのSSIDやネットワークキーを確認する」(35ページ)

#### ● SSID

SSIDはネットワーク名、アクセスポイント名と表記されている場合もあります。SSIDが複数ある場合も、すべて書き留めてください。

#### ● ネットワークキー

暗号化キー、WEPキー、WPA/WPA2/パスフレーズ、PSK、事前共有キーと表記される場合もあります。

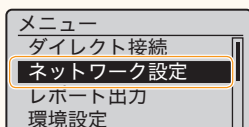
  
  

1

メニュー



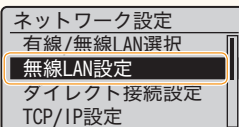
2



- [▲][▼]で<ネットワーク設定>を選択する。

OK ▼

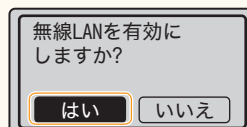
3



- [▲][▼]で<無線LAN設定>を選択する。

OK ▼

4



- [◀]で<はい>を選択する。

OK ▼

5

必ずかんたん設置ガイド  
を見ながら無線LAN  
設定を行ってください

OK

- メッセージを確認する。

OK ▼

6

無線LAN設定  
SSID設定  
WPS フッシュボタン方  
WPS PINコード方式  
AOSS

- [▲][▼]で<SSID設定>を選択する。

OK ▼

7

SSID設定  
アクセスポイント選択  
手動入力

- [▲][▼]で<アクセスポイント選択>を選択する。

「アクセスポイントが見つかりません。」が表示  
されたとき

- ➡ 「エラーメッセージが表示されたときは」  
(28ページ)

OK ▼

8

アクセスポイント選択  
SSID\_01  
SSID\_02  
SSID\_03  
SSID\_04

- メモしたSSIDと一致するものを[▲][▼]で選択する。
- 一致したSSIDが複数ある場合は、一番上のもの（電波の強いもの）を選択する。

SSIDが見つからないとき

- ➡ 「無線LAN/ルーターのSSIDやネットワークキーを確認する」(35ページ)

OK ▼

9

アクセスポイントの  
ネットワークキーの  
入力に進みます。

▼

10

ネットワークキー (16文字)  
<確定>  
入力モード: aA

1. [✱]を押して<入力モード>を選択する。
2. テンキーでネットワークキーを入力する。
3. [▲][▼]で<確定>を選択する。

OK ▼

➡ 次のページへ進む

1

はじめに

2

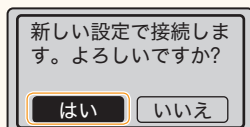
設置する

3

パソコンと接続する/ソフトウェアをインストールする

## 無線LANで接続しよう

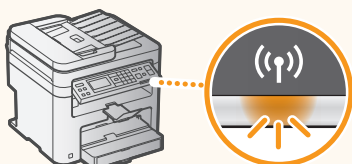
11



- [◀]で<はい>を選択する。



12



- 「接続しました。」という画面が表示されるので、Wi-Fiランプが点滅から点灯に変わるのを待つ。

**接続したらそのまま約2分間待つ**

この間に自動的にIPアドレスが設定されます。



次のページへ進む

### エラーメッセージが表示されたとき

[OK]を押して画面を閉じ、ネットワークキーが正しいか確認し、手順⑥からやり直してください。やり直してもアクセスポイントに接続できない場合は、以下を参照してください。

- ➡ 「エラーメッセージが表示されたときは」(28ページ)

### IPアドレスを手動で設定する場合

- ➡ ユーザーズガイド「IPv4アドレスを設定する」  
「IPv6アドレスを設定する」

### 無線LAN設定が完了しているか確認したいとき

「正しく接続されているかを確認する (IPアドレスの確認)」(34ページ)でリモートUIの画面が表示されたら、完了しています。

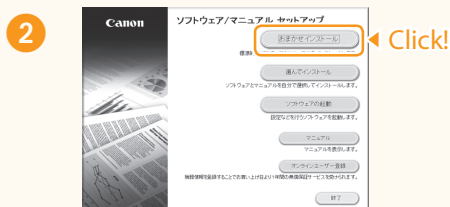
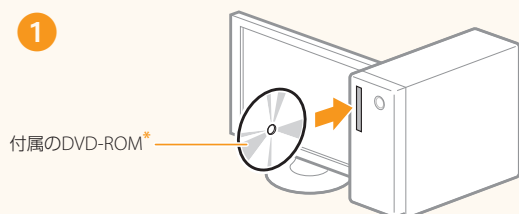
# 4 ソフトウェアをインストールする

MFドライバーとMF Scan Utilityをインストールします。インストールについての詳細は、「MFドライバーインストールガイド」を参照してください。

## ご注意

ネットワーク環境がIPv6の場合は、この手順でソフトウェアをインストールすることはできません。MFドライバーインストールガイドの「WSDを使用するときのインストール」をご覧ください。

### Windows



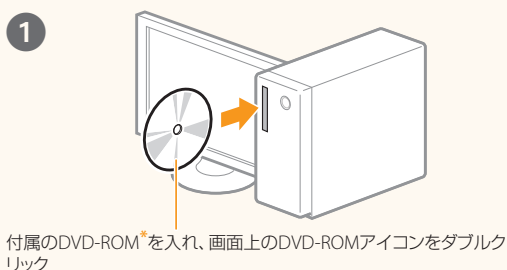
使用状況調査プログラムへのご協力をお願いします。  
詳細は画面の説明をご覧ください。

### 画面が正しく表示されないとき

DVD-ROMを入れなおすか、Windowsで「D:\MInst.exe\*\*」を検索する。

\*\* DVD-ROMドライブ名は「D:」として説明。

### Mac



\* ドライバーは、キヤノンホームページからダウンロードすることもできます。Mac OS用ドライバーの対応状況はキヤノンホームページでご確認ください。

これで無線LANによるパソコン接続は終了です！

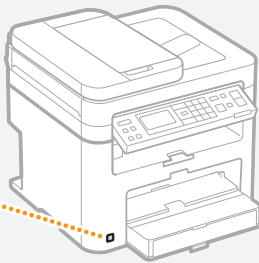
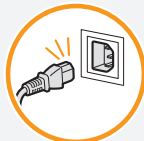
# 困ったときには

トラブルが解決できないときは

➡ ユーザーズガイド「困ったときは」

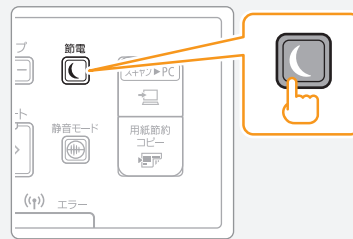
はじめに次のことを確認してください

ケーブルが正しく接続されているか？  
電源が入っているか？



節電モードになっていないか？

節電キーが点灯していたら、操作パネルの節電キーを押して節電モードを解除する



## こんなときは

アクセスポイント一覧に、接続したい無線LANルーターのSSIDが表示されない

### 原因 1

22ページにメモした無線LANルーターのSSIDが間違っている。

### 処置

- 無線LANルーターのSSIDを確認してください。  
➡ 「無線LANルーターのSSIDやネットワークキーを確認する」(35ページ)
- 設定をやり直してください。  
➡ 「SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名) を選んで設定する」(22ページ)

### 原因 2

ネットワークの状態に問題があり、本機が無線LANルーターを検出できない。

### 処置

- ネットワーク接続をチェックしてください。  
➡ 「無線LANで接続できないときは」(30ページ)

無線LANルーターのSSIDやネットワークキーが分からない

#### 処置

- ➡ 「無線LANルーターのSSIDやネットワークキーを確認する」(35ページ)

リモートUIが表示されない

#### 原因 1

本機のIP アドレスが正しく設定されていない。

#### 処置

- ルーターのDHCP 機能を有効にして、設定をやり直してください。
  - ➡ ルーター付属の取扱説明書を調べるか、またはメーカーにお問い合わせください。

#### 原因 2

無線LANルーターのネットワークキーが、本機に正しく設定されていない。

#### 処置

- 無線LANルーターのDHCP 機能を活かし、設定をやり直してください。
  - ➡ 「無線LANルーターのSSIDやネットワークキーを確認する」(35ページ)
- ▼
- 設定をやり直してください。
  - ➡ 「SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名) を選んで設定する」(22ページ)

#### 原因 3

間違ったSSIDを選択している。

#### 処置

- 無線LANルーターのSSIDを確認してください。
  - ➡ 「無線LANルーターのSSIDやネットワークキーを確認する」(35ページ)
- 設定をやり直してください。
  - ➡ 「SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名) を選んで設定する」(22ページ)

## ■ エラーメッセージが表示されたときは

アクセスポイントが見つかりません。

閉じる

### 処置1

- 制限時間内に無線LANルーターのプッシュボタンを押さなかった可能性があります。再度正しい手順で設定を行ってください。

### 処置2

- 正しいSSIDを入力しなかった可能性があります。再度無線LANルーターのSSIDを確認し、設定を行ってください。

### それでも表示される場合は…

「無線LANで接続できないときは」(30ページ)で確認してください。それでも解決しない場合は、無線LANルーターのセキュリティ設定を確認してください。

WPS接続できませんでした。

閉じる

### 処置

1. ご使用の無線LANルーターがWPS機能に対応しているか確認してください。
2. **対応している場合**  
「無線LANで接続できないときは」(30ページ)で確認してください。  
**対応していない場合**  
手動で設定をやり直してください。(22ページ)

無線LAN通信できませんでした。

閉じる

### 処置

- 本機の電源をいったん切り、再度電源を入れた後、設定をやり直してください。

### それでも表示される場合は…

「無線LANで接続できないときは」(30ページ)で確認してください。それでも解決しない場合は、無線LANルーターのセキュリティ設定を確認してください。

接続できませんでした  
PSK設定を確認してください。

閉じる

### 処置

- 正しいネットワークキーを確認して、設定をやり直してください。

### それでも表示される場合は…

「無線LANで接続できないときは」(30ページ)で確認してください。



共有キー認証ができませんでした。WEP設定を確認してください。

閉じる

#### 処置

- 正しいネットワークキーを確認して、設定をやり直してください。

#### それでも表示される場合は…

無線LANルーターのWEPの認証方式を「共有 (Shared Key)」に変更するか、本機のWEPの認証方式を<オープンシステム>に変更してください。

※ <オープンシステム>に変更するためには、すべての設定を手動で行う必要があります。  
(ユーザズガイド参照)

AOSS接続できませんでした。

閉じる

らくらく無線スタートでの接続ができませんでした。

閉じる

#### 処置1

- しばらく待ってから、再度設定を行ってください。

#### 処置2

- ご使用の無線LANルーターがAOSSまたはらくらく無線スタート機能に対応しているか確認してください。

#### 2. 対応している場合

「無線LANで接続できないときは」(30ページ)で確認してください。

#### 対応していない場合

AOSSまたはらくらく無線スタート機能対応の無線LANルーターを使って再接続してください。

## ■ 無線LANで接続できないときは

本機がネットワークに接続できる状態か、以下の項目を確認してください。

1



### パソコンの状態を確認する

- パソコンと無線LANルーターの設定は完了していますか？
- 無線LANルーターのケーブル類（電源ケーブルやネットワークケーブルなど）が抜けていませんか？
- 無線LANルーターの電源が入っていますか？

### それでもなおインターネットに接続できない場合は…

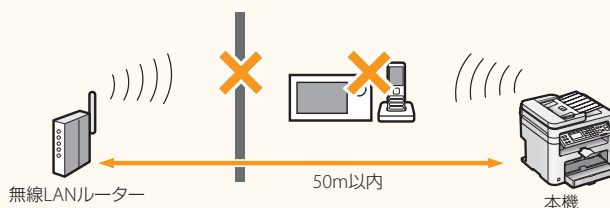
- 各機器の電源をいったん切り、電源を入れなおしてください。
- 少し時間をおいて、再度インターネットに接続できるか確認してください。

2



### 本機と無線LANルーターの設置場所を確認する

- 本機と無線LANルーターの距離が離れすぎていませんか？
- 本機と無線LANルーターの間に壁などの障害物がありませんか？
- 近くに電子レンジやデジタルコードレス電話機などの電波を発生する機器がありませんか？



3



### 以下の設定をしなおす

- ➡ 「WPS/AOSS/らくらく無線スタートで設定する」(20ページ)
- ➡ 「SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名) を選んで設定する」(22ページ)

➡ それでも接続できない場合は、次のページへ進む

### 無線LANルーターの設定をチェックしてください

**以下の場合、手動入力で設定してください。** ➡ ユーザーズガイド「すべて入力して設定する」

- ステルス機能\*がオンになっている
- ANY 拒否\*\*がオンになっている
- 「WEPキー 2」～「WEPキー 4」にWEPキーを設定しているにもかかわらず、「WEPキー選択」で適切な番号を選択していない
- 自動生成したWEP キー（16 進数）が設定されている

\* 無線LANルーターのSSIDを他の機器が自動検出できないようにする機能。

\*\* 他の機器がSSIDを「ANY」または「空白」に設定している場合、無線LANルーターが接続を拒否する機能。

**以下の場合、無線LANルーター側の設定を変更してください。**

- MAC アドレスフィルタリングが設定されている
- IEEE802.11n のみで通信している状態で、WEPまたは暗号化方式をTKIPに設定している場合

無線LANルーター側の設定や操作については無線LANルーターの取扱説明書を参照するか、無線LANルーターのメーカーにお問い合わせください。

# 付録

## ■ A4サイズ以外の用紙をセットする

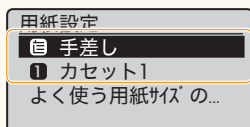
A4サイズ以外の用紙をセットするときは、「用紙をセットしよう」(8ページ)の手順に従ってセットし、初期設定をすべて終えてから、用紙のサイズと種類を設定してください。

1

用紙設定



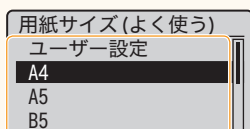
2



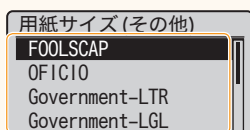
- <手差し>または<カセット1>を選択する。

OK

3



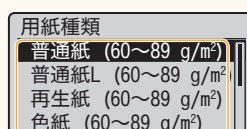
- 用紙サイズを選ぶ。



- セットしたい用紙サイズが表示されていない場合は、<その他のサイズ>を選択して[OK]を押し、用紙サイズを選ぶ。

OK

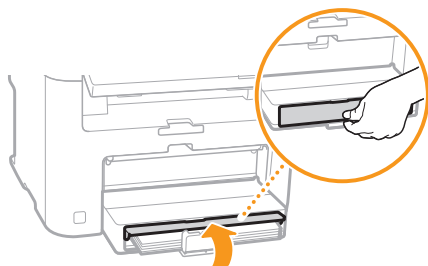
4



- 用紙の種類を選ぶ。

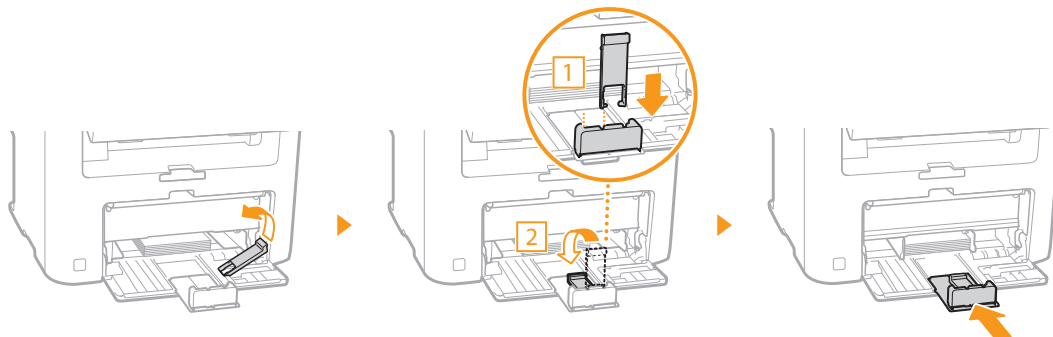
### 給紙カセットより長い用紙をセットする

用紙をセットした後、給紙カセットの前面にあるカバーを開けます。



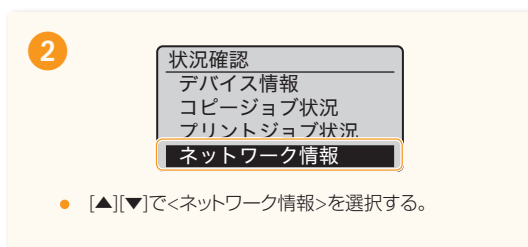
### はがきなどの小さいサイズの下紙をセットする

- はがきガイドを取り付けてから用紙をセットします。

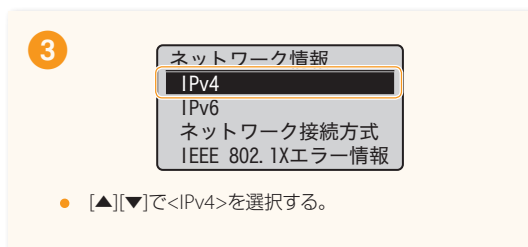


- 用紙のセット方法は  
➡ ユーザーズガイド「封筒・はがきをセットする」

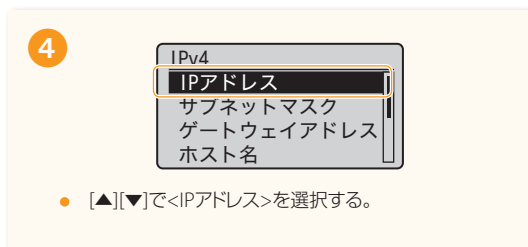
## ■ 正しく接続されているかを確認する (IPアドレスの確認)



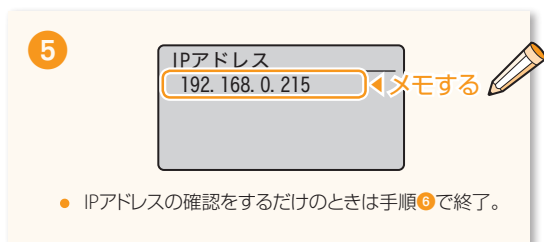
OK ▼



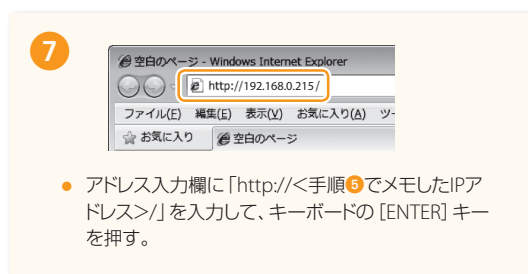
OK ▼



OK ▼



パソコンのウェブブラウザを起動する

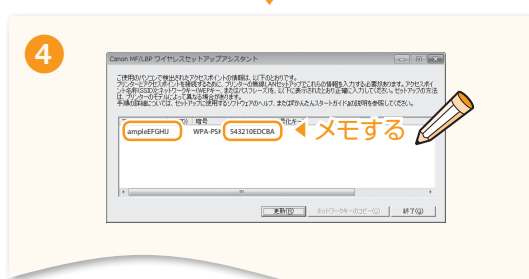
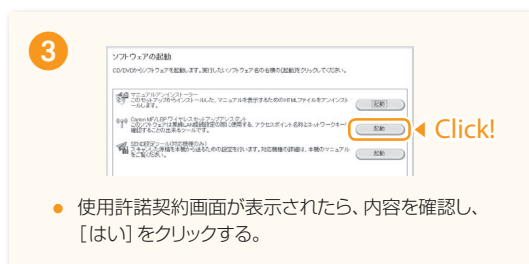
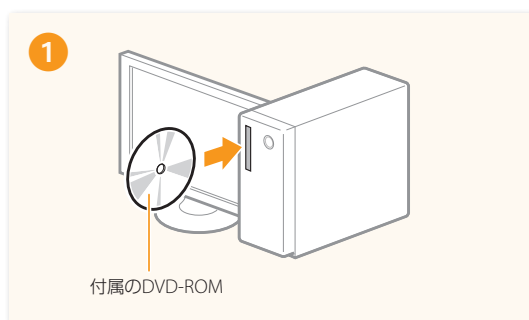


### 画面が正しく表示されないとき

- ⊕ 「リモートUI が表示されない」 (27ページ)

## ■ 無線LANルーターのSSIDやネットワークキーを確認する

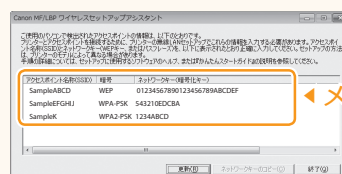
無線LANで接続されたパソコンからなら、付属のDVD-ROMに収録されている「Canon MF/LBP ワイヤレスセットアップアシスタント」を使用して無線LANルーターのSSIDやネットワークキーを確認することができます。



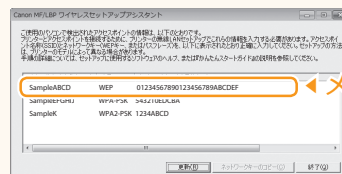
- アクセスポイント名称 (SSID) とネットワークキーを22ページにメモして、設定を続ける。

複数のアクセスポイントが表示されたとき

- 表示されたSSIDをすべてメモする。



- 「SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名) を選んで設定する」(22ページ)の手順⑧までの操作を行う。
- 手順⑧で本機のディスプレイに表示されたSSIDから、メモしたSSIDと一致するものを選択する。
- 選択したSSIDのネットワークキーをメモする。



- 「SSID (ネットワーク名/アクセスポイント名) を選んで設定する」(22ページ)の手順⑨以降の操作を行う。

無線LAN ルーターが表示されないとき

- 「更新」をクリックする。
- 「更新」をクリックしても情報が表示されないときは、パソコンと無線LAN ルーターの設定が完了しているか確認する。

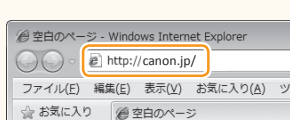
➡ 23ページの手順⑩へ戻る

## ■ 特殊環境の無線LAN ルーターの情報を確認する

(BUFFALO社製無線LAN ルーター／ Mac)

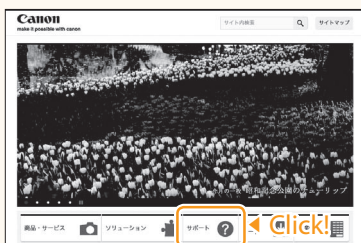
BUFFALO社製の無線LANルーターまたはMacをお使いの場合は、キャノンホームページで無線LANルーターの情報を確認することができます。

1



- ウェブブラウザのアドレス入力欄に「http://canon.jp/」を入力して、キーボードの [ENTER] キーを押す。

2



- “サポート”をクリックする。

3

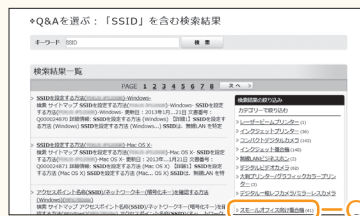


- “目的から探す”タブの“Q&A検索（よくあるご質問）”をクリックする。

4

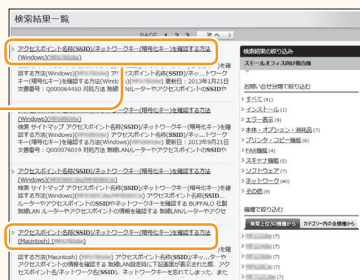


5



- “スモールオフィス向け複合機”をクリックする。

6



選択!

選択!

必要に対する項目を選択する。

- BUFFALO社製無線LANルーターの情報を確認する場合  
“アクセスポイント名称 (SSID) / ネットワークキー (暗号化キー) を確認する方法 (Windows)”を選択する。
- Macで無線LANルーターの情報を確認する場合  
“アクセスポイント名称 (SSID) / ネットワークキー (暗号化キー) を確認する方法 (Macintosh)”を選択する。

情報を確認するためのコンテンツが表示されます。



# Memo

# 安全にお使いいただくために

お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しています。本機をお使いになる前によくお読みいただき、正しくお使いください。また、このマニュアルに記載されていないことは行わないでください。マニュアルの記載に従わない使いかた、不適切な使いかた、弊社および弊社指定以外の第三者による修理／変更などによって生じた障害の責任は負いかねますのでご了承ください。

## ▲ 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

## ▲ 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

## ご注意

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。

## ■ 設置について

本機を安全かつ快適にお使いいただくために、次の注意事項をよくお読みいただき、適切な場所に設置してください。

## ▲ 警告

火災や感電の原因となる場所には設置しない

- 通気口をふさぐ恐れのある場所（壁の近く、ソファ、毛足の長いじゅうたんのう上など）
- 湿気やホコリの多い場所
- 屋外や直射日光の当たる場所
- 高温になる場所
- 火気のある場所
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近く

## その他の警告

- 本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- アクセサリーなどの金属や、液体の入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 万一、本機の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店、またはキャノンお客様相談センターもしくは担当サービスにご連絡ください。

## 次のような場所には設置しない

落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

- 不安定な場所
- 振動のある場所

## ▲ 注意

次のような場所には設置しない

故障の原因になることがあります。

- 低温、低湿または高温、高湿の場所
- 急激な温度変化や湿度変化がある場所
- 磁気や電磁波を発生する機器に近い場所
- 実験室など、化学反応が生ずる場所
- 空気中に、腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所

- 本機のお重みによってゆがみや沈みが生ずる可能性がある場所（じゅうたん／畳の上など）

## 風通しの悪い場所には設置しない

本機の使用中は、オゾンなどが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い場所で長時間使用する場合は、大量に印刷する場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。また、本機からの排気が人体に直接当たる場所には設置しないでください。

## 結露の発生する場所には設置しない

部屋を急に暖めたり、温度や湿度が低い場所から高い場所へ本機を移動させたりすると、本体内部に水滴（結露）が発生することがあります。そのまま使用すると紙づまり、印字不良、故障などの原因になることがありますので、2時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。

## 海拔3000m以上の高地の場合

ハードディスクを搭載している製品は、高地（海拔3000m以上）で使用する、正常に動作できない場合があります。

## ストッパーについて（付属品のみ）

設置したあとは、本製品固定用のストッパーは外さないでください。本製品が動いたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

## 電話回線について（FAX機能搭載製品のみ）

電話回線の抵抗値と本機の抵抗値の合計が1700Ωを超える場合など、電話回線や地域などの条件によって通信できないことがあります。このようなときには、お買い求めの販売店、担当サービスまたはキャノンお客様相談センターにご連絡ください。本機はNTTのアナログ回線に準拠しており、一般の加入電話回線のみ接続できます。ビジネスホンなどを接続している専用回線に接続すると故障の原因となる場合があります。必ず回線を確認してから接続してください。

## 無線LANを利用するとき（無線LAN機能搭載製品のみ）

- 無線LANルーターとの距離が50m以内の場所に設置してください。
- できるだけ遮蔽物のない場所に設置してください。壁越しやフロア間の通信は、接続しにくくなります。
- デジタルコードレス電話機や電子レンジなどの電波を発生する機器からできるだけ離して設置してください。
- 医療用機器の近くで使用しないでください。本機からの電波が医療用機器に影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になることがあります。

## ■ 電源について

## ▲ 警告

- 仕様外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げる、などの行為はしないでください。また、電源コードに重いものをのせしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
- タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。電源プラグがしっかり差し込まれていないと、火災や感電の原因になることがあります。
- 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、感電、故障の原因になることがあります。

- 本機への電源供給が安全であること、安定電圧であることを確認してください。

- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になることがあります。

## 次のような取り扱いだけは避けてください。

電源コネクタが接続される本機の差込口にストレスが強くかかると、本機の内部で断線や接触不良が発生し、故障や火災の原因になることがあります。

- 電源コネクタを頻繁に抜き差しする
- 電源コードに足を引っ掛ける
- 電源コードが電源コネクタ付近で曲げられ、本機の差込口に継続的なストレスがかかっている
- 電源コネクタに強い衝撃を加える

## アース線を接続してください

- コンセントのアース線端子に、アース線を接続してください。アース線を接続していないと、万一漏電した場合に感電の恐れがあります。コンセントにアース線専用端子がない場合は、接地工事（D種）が行われているアース線端子に接続してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

## 次の場所にはアース線を絶対に接続しない

- 水道管：配管の一部がプラスチックの場合、アースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管には接続できます。
- ガス管：ガス爆発や火災の原因になることがあります。
- 電話線のアースや避雷針：落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になることがあります。

## ▲ 注意

非常時にすぐ電源プラグが抜けるように、本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグの周囲に物を置かないでください。

## ご注意

## 電源を接続するとき

- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作や故障の原因になることがあります。
- 複数の接続口を持つコンセントに本機を接続した場合、残りの接続口にはほかの機器を接続しないでください。
- パソコン本体の補助コンセントに本機の電源コードを接続しないでください。
- 屋内漏電ブレーカーを介して配線されているコンセントの使用を推奨します。

## その他の注意事項

- 電気的なノイズは、本機の誤動作、あるいはデータ消失の原因になることがあります。
- お使いの電源についてご不明な点は、電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

## ■ 取り扱いについて

## ▲ 警告

- 異音・異臭がする、発熱・発煙している、などの場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店、またはキャノンお客様相談センターもしくは担当サービスにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になることがあります。
- 本機を分解、改造しないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コード、ケーブル類、製品内部のギア、電気部品などに子供の手が届かないよう注意してください。思わぬ事故の原因になることがあります。
- 本機の近くで可燃性スプレーなどを使用しないでください。ガスなどの異物が本機内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になることがあります。

- 本機を移動させる場合は、必ず本機の電源を切ってから、電源プラグを抜き、インターフェイスケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインターフェイスケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグをコンセントに接続している状態でUSBケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になることがあります。
- モジュラーケーブル、USBケーブルには、3m以内の長さのものを使用してください。
- お客様の使用環境や動作モードにより、稼働音が気になる場合は、事務所とは別の場所に設置することをおすすめします。

#### 心臓ペースメーカーをご使用の方へ

本機から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本機から離れ、医師にご相談ください。

#### ▲ 注意

- 本機の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちたりしてけがの原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 開閉部を操作するときは、手を挟まないようにしてください。けがの原因になることがあります。
- 排紙部のローラーに触らないでください。巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- 使用直後は、内部や排紙口が高温になります。また、連続印刷すると用紙が熱くなることがありますので、取り扱いは注意してください。やけどの原因になることがあります。

#### フィーターについて（フィーター搭載製品のみ）

- 原稿台ガラスに厚い本などをセットしてコピーするときは、フィーターを強く押さないでください。原稿台ガラスが破損してけがの原因になることがあります。
- フィーターは、手を挟まないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。
- フィーターの奥側に手を挟まないように静かに閉じてください。けがの原因になることがあります。

#### フィニッシャーについて（フィニッシャー装着製品のみ）

- フィニッシャーを装着しているときは、トレイ内のホチキスされる場所やローラー部に手を入れないでください。特にホチキス針にはご注意ください。けがの原因になることがあります。

#### カセットについて（カセット搭載製品のみ）

- カセットを引き抜いた状態で、本体内部に手を入れないでください。けがの原因になることがあります。

#### 節電キーについて（節電キー搭載製品のみ）

夜間など本機を長時間ご使用にならないときは、安全のため節電キーを押してください。また、連休などで長期ご使用にならないときは、安全のため電源を切ってから、電源プラグを抜いてください。

#### レーザー光について

- この製品はIEC60825-1:2014およびEN60825-1:2014においてクラス1レーザー製品であることを確認しています。レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本機では、レーザー光はカバーや外装で遮蔽されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配はまったくありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
- このマニュアルで指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
- マニュアルで規定された、制御、調整および操作手順以外のご利用は、危険な放射線の露出を引き起こす可能性があります。万一、レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

#### その他の注意事項

- 本機に貼ってある注意ラベルの指示に従ってください。

- 本機に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 開閉部を無理に開け閉めしないでください。故障の原因になることがあります。
- 動作中に電源スイッチを切ったり、本機のカバーを開けたりしないでください。紙づまりの原因になります。

#### ■ 保守／点検について

定期的には本機を清掃してください。ホコリなどがたまると、正しく動作しないことがあります。お手入れをする際は、次の内容を必ずご確認ください。操作上問題が発生したときは、困ったときは参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お問い合わせの販売店、またはキャノンお客様相談センターもしくは担当サービスにご連絡ください。

#### ▲ 警告

- 清掃の前に、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。これをせずに清掃作業を行うと、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグは定期的な抜き、付着したホコリや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ホコリが湿気を吸って電流が流れ、火災の原因になることがあります。
- 清掃のときは、水で湿らせ固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤や、ティッシュペーパー、紙タオルなどは使用しないでください。これらが内部の電気部品などに付着すると、火災や感電、静電気発生の原因になることがあります。
- 電源コードや電源プラグは定期的に点検し、発熱、錆び、曲がり、擦れ、亀裂がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用し続けると、火災や感電の原因になることがあります。

#### ▲ 注意

- 本体内部には高温／高電圧部分があり、むやみに手を触れるとけがやけがの原因になることがあります。マニュアルで説明されている以外の箇所に手を触れないでください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切らないように、注意してください。

#### ■ 原稿などを読み込む際の注意事項

著作物、通貨、有価証券、公文書などを原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられることがありますのでご注意ください。

#### 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製、加工することは、個人のまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製すると、肖像権が問題となる場合があります。

#### 通貨、有価証券など

次のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証券
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

#### 公文書など

次のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

#### MEMO

##### 関係法律について

- 刑法
- 郵便法
- 著作権法
- 郵便切手類模造等取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 印紙等模造取締法

#### ■ 資源再利用について

キャノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

**使用済み複合機・プリンターの受け入れ場所について**  
使用済みとなった複合機・プリンターにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先にご注意してご連絡願います。



キャノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済み複合機・プリンターのリサイクルを推進しています。使用済みの複合機・プリンターの回収については、お問い合わせの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分させていただきます。

**使用済みドラムユニット、トナー容器（カートリッジを含む）などの回収について**  
使用済みとなったトナー容器などにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先にご注意してご連絡願います。



キャノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みドラムユニットおよび使用済みトナー容器の回収とリサイクルを推進しています。使用済みドラムユニット、トナー容器の回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。

#### ■ 安全規格関連の注意マーク

- ⌚ 電源スイッチオン（入り）
- ⌚ 電源スイッチオフ（切り）
- ⌚ スタンバイ（待機状態）
- ① プッシュプッシュスイッチ ■ "ON" ■ "OFF"
- ⊕ 保護接地端子
- ⚠ 内部に危険電圧有。カバーを外さないこと。
- ⚠ 注意：高温、触れないよう注意してください
- Ⓜ クラスII機器
- ⚠ 可動部有：可動部に触れないよう注意してください

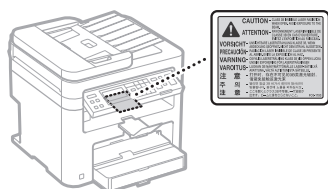
#### MEMO

使用上の機種によっては表記されていないマークもあります。

v1602\_00\_ja-JP

# 付録

## ■レーザー光の注意ラベル



## ■消耗品について

### ▲警告

トナーカートリッジを火中に投げないでください。また、トナーカートリッジや用紙は火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になることがあります。

## ■おことわり

### 本製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の()内の名称で登録されていることがあります。

Satera MF244dw (F173700)

Satera MF242dw (F173700)

Satera MF232w (F171900)

### 電波障害規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

なお、通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

VCCI-B

### 電波法について

本製品には、電波法に基づく工事設計認証を受けた特定無線設備(認可番号: 207-633728)を用いています。

### 電波に関するご注意

本製品は、2.4 GHz帯域の電波を使用しております。本製品をご使用になるうえで、無線局の免許は必要ありませんが、次の点にご注意ください。

- 心臓ペースメーカーなどの医療用機器の近くでは使用しないでください  
心臓ペースメーカーなどの医療用機器の近くで本製品をご使用になると、本製品からの電波がペースメーカーなどの医療用機器に影響を及ぼすことがあります。
- 電子レンジの近くでは使用しないでください  
電子レンジの近くで本製品をご使用になると、電波の干渉が発生し、通信ができなくなったり、通信速度が低下する場合があります。
- 本製品と無線機器の間に、金属や鉄筋、コンクリートなどがあると通信できません  
本製品と無線機器の間に、金属や鉄筋、コンクリートなどが使用された壁やパーティションなどがあると、通信ができなくなったり、通信速度が低下する場合があります。その場合は、本製品や無線機器の設置場所を変更したりパーティションなどを取り外すなどしてください。
- 移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局の近くでは使用しないでください  
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線

局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止したうえ、お客様相談センター(お問い合わせ)へご連絡のうえ、混信回避のための処置など(たとえば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
3. その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、お客様相談センター(お問い合わせ)へお問い合わせください。

## 2.4 DS/OF 4

- 2.4 : 2.4 GHzの周波数帯域を使用することを示します。
- DS/OF : 変調方式にDS-SS方式およびOFDM方式を採用していることを示します。
- 4 : 想定される干渉距離が「40 m以下」であることを示します。
- : 全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」「アマチュア無線局」帯域を回避可能であることを示します。

### 高調波の抑制について

本機器はJIS C 61000-3-2 高調波電流発生限度値に適合しています。

### 免責事項

- 本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にいかなる本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。

### 商標について

Macは、Apple Inc.の商標です。  
Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer、ExcelおよびPowerPointは、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
その他、本マニュアル中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

## ■第三者のソフトウェアについて

お客様ご購入のキヤノン製品(以下、「本製品」)には、第三者のソフトウェア・モジュール(その更新されたものを含み以下、「第三者ソフトウェア」)が含まれており、かかる「第三者ソフトウェア」には、以下1～8のライセンス条件が適用されます。

1. お客様が「第三者ソフトウェア」の含まれる「本製品」を、輸出または海外に持ち出す場合は、日本国及び関連する諸外国の規制に基づく関連法規を遵守してください。
2. 「第三者ソフトウェア」に係るいかなる知的財産権、権原および所有権は、お客様に譲渡され

るものではなく、「第三者ソフトウェア」の権利者に帰属します。

3. お客様は、「第三者ソフトウェア」を、「本製品」に組み込まれた状態でのみ使用することができます。
4. お客様は、権利者の事前の書面による許可なく、「第三者ソフトウェア」を開示、再使用許諾、販売、リース、譲渡してはなりません。
5. 上記にかかわらず、お客様は、以下の条件に従う場合のみ、「第三者ソフトウェア」を譲渡することができます。
  - ・お客様が「本製品」に関するすべての権利、および「第三者ソフトウェア」に関するすべての権利および義務を譲渡すること
  - ・お客様から譲渡を受ける者が、「本製品」に附随する条件に同意していること
6. お客様は、「第三者ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバースエンジニアリング等することはできません。
7. お客様は、「本製品」に含まれる「第三者ソフトウェア」を除去したり、「第三者ソフトウェア」を複製してはなりません。
8. 「第三者ソフトウェア」中のソースコードについては、お客様にいかなるライセンスも許諾されません。

「本製品」には、上記1～8のライセンス条件にかかわらず、別途固有のライセンス条件が適用される「第三者のソフトウェア」が含まれます。下記のホームページを参照していただき、該当する「本製品」の取扱説明書に記載されている「付録」の「第三者のソフトウェアについて」をご確認ください。

<http://canon.com/oip-manual>

「本製品」をご利用になられた場合には、お客様は、「本製品」に適用されるすべてのライセンス条件に同意したものとさせていただきます。お客様が、ライセンス条件に同意できない場合、担当サービスにご連絡下さい。

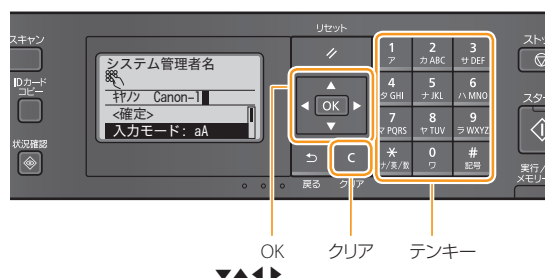
以上

# Memo

# Memo

# 文字を入力する

設定や登録のとき、文字や数字を入力しなければならないことがあります。このときは、テンキー、[OK]、[▼]、[▲]、[◀]、[▶] などを使って入力します。



使うテンキー	入力モード（切り替えかたは下を参照）		
	<カナ>	<aA>	<12>
1 ア	アイエアイウエ	@-_/	1
2 カ ABC	カケクコ	ABCabc	2
3 サ DEF	サシセソ	DEFdef	3
4 タ GHI	タチテツ	GHIghi	4
5 ナ JKL	ナニネノ	JKLjkl	5
6 ハ MNO	ハヒフホ	MNOmno	6
7 マ PQRS	マミムメ	PQRSpqrs	7
8 ヤ TUV	ヤヨヤユ	TUVtuv	8
9 ラ WXYZ	ラリルロ	WXYZwxyz	9
0 ワ	ワヲ	(入力不可)	0
# 記号	＊（濁音） 。（半濁音） -（ハイフン）	（スペース）- . * # ! " , ; : ^ ` _ = / ' ? \$ @ % & + ¥ ~ ( ) [ ] { } < >	(入力不可)

## 入力モードを切り替えるには

入力モードにはカタカナを入力する<カナ>、アルファベットや記号を入力する<aA>、数字を入力する<12>の3種類があり、初期状態では<カナ>にセットされています。入力モードを切り替えるときは、**[＊]**を押します。押すたびに入力モードが替わります。

## カーソルを移動する

[◀]または[▶]を押すとカーソルが移動します。

## スペースを入力する

文字の最後にカーソルを合わせて[▶]を押すと、スペースが入力されます。

## 入力した文字を削除する

**[C]**を押すと文字が削除されます。そのまま押し続けるとすべての文字が削除されます。

## お問い合わせは

本機についてのご質問や修理のご依頼は、お買い上げ販売店または修理受付窓口へお問い合わせください。各種窓口は、キヤノンホームページ (<http://canon.jp/>) 内のサポートのページでご確認いただけます。

# Canon

キヤノン株式会社／キヤノンマーケティングジャパン株式会社  
〒108-8011 東京都港区港南2-16-6



FT6-1967 (000)

XXXXXXXXXX

Copyright CANON INC. 2017

PRINTED IN KOREA



F T 6 • 1 9 6 7 • 0 0 0